

大会名 Competition	第39回 能代カップ 高校選抜バスケットボール大会
NO. M-101	Year Month Day Time 2026 年 5 月 5 日 9 : 00
場所 Place	NODENアリーナ(能代総合体育館)

発行：能代市バスケットボール協会  
http://ncup.snowland.net



チーム A		チーム B
能代科技	( 31 1st 12 18 2nd 22 13 3rd 17 16 4th 28 0 T )	駒大苫小牧
78 ●		79 ○

主審:Crew chief  
小野 裕樹 青森  
副審:Umpire  
大山 忠則 秋田  
佐々木 飛翔 秋田  
テーブルオフィシャル:Table officials  
能代松陽高校 男子

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F
0	×	松田 来翔	cap	13	3	1	2	5	1		橋本 徠衣		-	-	-	-	0
4	/	金 隼輝		4	0	1	2	3	2	/	小田 爽太郎		6	2	0	0	1
8	/	下田 瑛斗		2	0	1	0	0	5	×	アディエモ ムハンマド マウテ		24	0	11	2	4
9	/	黒澤 啓太		6	2	0	0	0	13	/	本田 悠成		7	1	1	2	2
12	/	大嶋 遥佳		3	1	0	0	0	15		木戸 元柊		-	-	-	-	0
13	×	信太 虹輝		29	7	1	6	1	17	×	堀崎 裕矢		7	1	0	4	3
15	×	岸部 瑛大		12	2	2	2	4	19		高原 一馬		-	-	-	-	0
17	×	熊澤 隼		2	0	1	0	3	22	/	小山 マチ 佑紀		0	0	0	0	1
18	×	永井 瑛都		7	0	3	1	4	25	×	垣内 雄士郎		13	3	2	0	2
22		鈴木 秀哉		-	-	-	-	0	28	/	伊藤 和心		3	1	0	0	5
25	/	大倉 悠暉		0	0	0	0	2	31	/	高橋 甘太郎		5	0	2	1	0
32	/	阿部 颯唯		0	0	0	0	1	35	×	熊谷 海凜		2	0	1	0	1
34	/	畠山 蒼馬		0	0	0	0	0	52		土方 暖人		-	-	-	-	0
44		工藤 祥		-	-	-	-	0	55	×	袋井 想之介	cap	2	0	1	0	0
64		倉持 駿成		-	-	-	-	0	68	/	高橋 和真		10	2	2	0	1
									72		葛西 夏輝		-	-	-	-	0
コーチ		長谷川 聡						0	コーチ		田島 範人						0
Aコーチ		遠田 貴大						0	Aコーチ		スティーン ジェームス佑樹						
合計				78	15	10	13	23	合計				79	10	20	9	20

※×:スターター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3P\* イントシュート 2P:2P\* イントシュート FT:フリースロー F:ファウル

Score ranking [Team]

1	29	37.18%	信太 虹輝
2	13	16.67%	松田 来翔
3	12	15.38%	岸部 瑛大

1	24	30.38%	アディエモ ムハンマド マウテ
2	13	16.46%	垣内 雄士郎
3	10	12.66%	高橋 和真

Score ranking [Game]

1	29	信太 虹輝	能代科技	2	24	アディエモ ムハンマド マウテ	駒大苫小牧	3	13	松田 来翔	能代科技
								3	13	垣内 雄士郎	駒大苫小牧

39回能代カップ皮切りの一戦は能代科技と駒大苫小牧。2026年の陣容お披露目のゲーム。  
1Q、駒大苫小牧は着実に点を重ねていくが能代科技は3本の3Pで対抗する。能代科技は駒大苫小牧の#5アディエモのゴール下に苦勞していたが、丁寧なディフェンスと高確率の3Pを決め、3分を切って22-10とリードする。その後もしつこいディフェンスからの速攻も絡め、理想的な攻めで能代科技が31-12とリード。  
2Q、スタートからディフェンスを緩めない能代科技はミスを突いてリードを保つ。駒大苫小牧はフリースローが決まらない一方、能代科技は#13信太の3Pが止まらない。前半は能代科技の気迫が途切れず、49-34で折り返し。  
3Q、駒大苫小牧#5アディエモに対し能代科技はなかなかインサイドを攻められないが、外から効果的に3Pを決めていく。双方点の取り合いが続き62-51。駒大苫小牧はなかなか10点差を縮められない。  
4Q、能代科技#13信太が駒大苫小牧#5アディエモをうまくかわして得点を重ねる。1年生の#18永井もリバウンド、ブロックと存在をアピール、10点差を保つ。能代科技は速い攻撃でファウルを誘い何とかフリースローで突き放しにかかるが、駒大苫小牧はリバウンドを生かし3Pで追い上げる。ここに来て能代科技はシュートが決まらず、残り2分で75-77と駒大苫小牧が逆転する。3点差となったところで残り30秒、能代科技は#15岸部が3Pを狙い見事成功、同点とする。残り1.9秒、能代科技は痛恨のファウルを犯し、最初の一投を決めた駒大苫小牧が78-79で勝利した。  
38分間ずっとリードしていて勝てなかった能代科技は悔しいゲームとなった。